

個人山行報告書

通算山行NO		報告者	後藤隆徳
年月日	2006年12月3日(日)	二万五千円=湯ヶ島・土肥	
山名	西伊豆山塊・猫越岳(1035m)北東尾根		
体力度=3 技術度=3 藪漕度=少しある 道標=西伊豆山稜線はある 展望度=全体的にない 三角点=猫越岳は三等三角点			
ブナが素晴らしい山稜			
コースとタイム	長泉6:00-湯ヶ島-猫越川-標高400m地点の橋発7:50-北東尾根-1031m峰-猫越岳10:30-猫越峠手前10:45~12:15-猫越峠12:30-林道-猫越川源流-ワサビ田-出発点14:00		
標高差	上り 猫越川標高400m~猫越岳1035m=635m		
参加者	CL・後藤隆徳、加藤秀子、大野貴美子、中村正吾、近森正彦、ほか6名		

実はまだ猫越岳は上っていなかった。伊豆の山研究の第一人者を自認する割にはである。ただ、なだらかな山なのでルートは工夫する必要があった。検討の結果、東面の猫越川から西に向かう尾根を目指す。

湯ヶ島から猫越川を遡る。最終集落で猫越川は左に河原小屋沢を分ける。更に本流沿いに進むと標高約400mの橋のたもとに大きな駐車場がある。ここに車を置き小沢を渡った右が尾根の取り付きである。

この山は人工林が多い。標高850mに林道が横たわるが、更に人工林が続く。しかも林道の上には檜の幼木が植林してあった。今の時代、一本材木を搬出すると2千円の赤字になると言うが、まだその必要があるのか。余談だが次週上った八丁池下には、自然林の植林があった。

尾根が西から南に屈曲する標高950m辺りでようやく自然林帯になり、見事なブナが広がって来た。地図の1031m標高点には大きな「タコブナ」があった。タコが逆立ちしたような凄いブナだった。

ここから猫越岳まで広い大きな尾根でアセビの巨木が地を這うように伸びている。猫越岳はその南の端にあった。記念写真を撮り、伊豆山稜線歩道を猫越峠に向かう。峠の手前にブナが素晴らしい場所があったのでそこで昼食とした。

冬の柔らかい陽光が注ぐいい場所だった。久しぶりに、加藤が背負い込んだ豚汁を皆に振舞ってくれた。

離れがたい気持ちを断ち切って猫越峠から猫越川に下山。ここも100mも下ると人工林が現れる。林道に出て猫越川源流を下ろうと思ったが、そこは既に林道になっていた。仕方がないので沢沿いのワサビ田を下る。鉄橋を跨いで渡ったりスリリングな行程だった。下りきり林道でワサビ業者と歓談。一昨年の大雨でかなりの被害があったと言う。そして「山はやっぱり自然林でないとダメ」と嘆いていた。

林道を下れば程なく駐車場に出る。その足で「さわらび荘」に向かい、今期第一回目の忘年会を敢行した。